

3Dプリンタの世界動向と 現場活用の秘訣



主催:名古屋市工業研究所
協賛:中部金型技術振興会・中部プラスチック金型協同組合
(一社)中部日本プラスチック製品工業協会
愛知県プラスチック成形工業組合
中部生産加工技術振興会・中部エレクトロニクス振興会
(一社)プラスチック成形加工学会東海支部
(公社)自動車技術会中部支部

AM※(3D プリント技術)は様々な挑戦により活用分野を拡大し、単なる試作用途から、実際の製造現場でも重要な役割を担うようになってきました。実例を交えてご紹介します。多数のご聴講をお待ちしています。

※AM(Additive Manufacturing)付加製造法: 材料を付け加えていくことで目的の物体を作製する手法。

日時:2023年11月24日(金) 13:30~16:30(受付13:00~)

場所:名古屋市工業研究所 第1会議室(管理棟3階)

参加費無料!

13:30~13:35 開会ご挨拶

13:35~15:05 セッション1

【AMで「分散型ものづくり」を実現 工場の現場で本格活用が進む！ カーボンファイバーと金属3Dプリンティング】

AM・3Dプリンティングは、ここ30年間、意匠確認や試作などの開発ツールとして使われてきており、大きな成果をあげています。ただ、昨今では、長繊維カーボンファイバーなどでCFRPが作れる3Dプリンタの台頭により、パーツの強度、精度と信頼性が大幅に向上したことで、特に生産工場の現場において、治工具やロボットハンドなどとしての活用が加速しています。本セッションでは、現場の活用事例とともに世界のAMの現状からトレンドの解説をし、さらに近未来に向けた展望も提供します。

講師:マークフォージド・ジャパン株式会社

代表取締役社長 トーマス・パン 氏(Thomas H. Pang, Ph.D.) ※日本語講演

15:05~15:35 休憩 + 実機/サンプル見学

マークフォージド(Markforged)社の3Dプリンタ、MarkTwoなどの実機と造形例をご覧ください。

15:35~16:20 セッション2

【国内自動車メーカーのAMを活用した治具生産事例について】

近年、国内では、AM技術を活用した治具用途での活用が拡大してきました。従来は強度の必要ない領域での治具活用でしたが、AM技術の進化により、樹脂3Dプリンタを使用して金属並みの強度が実現できるようになり、治具の活用領域は大幅に広がっています。本セッションでは、AM技術を活用した治具生産のワークフローと切削加工と比較した場合のメリットを紹介します。また、国内自動車メーカーのAM技術を活用した工場内での治具活用についても詳しく説明します。

講師:株式会社データ・デザイン テクニカルユニット リーダー 牛尾 公一 氏

16:20~16:30 質疑応答

会場: 名古屋市工業研究所
第1会議室(管理棟3階)

最寄駅…地下鉄名港線「六番町」(3番出口)

<https://www.nmiri.city.nagoya.jp/aboutus/access/>

参加費 : 無料

定員 : 60人(先着順)

<おねがい>

◎感染症拡大状況によっては、内容を変更または中止する場合がありますのでご了承ください。

ご来所の際は、感染症対策へのご協力をお願いいたします。



申込方法: FAX… 下記申込書にご記入の上お送りください。

E-mail… 申込書に記入、またはメール本文にて必要事項をお送り下さい。

申込・問合せ先: 名古屋市工業研究所 システム技術部 生産システム研究室 岩間

FAX: 052-654-9952

TEL: 052-654-9951 (ダイヤルイン)

E-mail: iwama.yuki@nmiri.city.nagoya.jp

※送信後1週間たっても返信がない場合は、お手数ですがお電話にてご連絡ください。



3Dプリンタの世界動向と現場活用の秘訣

講演会申込書

FAX: 052-654-9952 岩間行

ご所属(社名等)	
部署・役職/ お名前	※複数名でのお申し込み可※
E-mail	
TEL	
備考・質問	(講師へのご質問等があればお書きください)
メールマガジン(NMIRI 技術ニュース)申し込み	希望する ・ 希望しない ・ 申込済

※ご記入頂いた個人情報は、受講者への連絡など講演会目的、(希望者への)メルマガ配信以外には使用いたしません。